



Ceremony
記念式典
2022.12.1

12月1日、野原八幡宮で登録を祝う記念式典が執り行われました。

登録決定の翌日1日、野原八幡宮でユネスコ無形文化遺産登録を祝う式典が開かれました。当日、浅田市長は「受け継がれてきたことを大切に、未来へつないでいきたい」と述べ、登録決定を祝い、楼門に設置されたくす玉を割って周囲は歓喜に包まれました。式典には、関係者や八幡小の児童など約80人が参加。児童は普段はなかなかできない貴重な体験をすることができました。



式典を見学した八幡小6年生の子どもたちの声



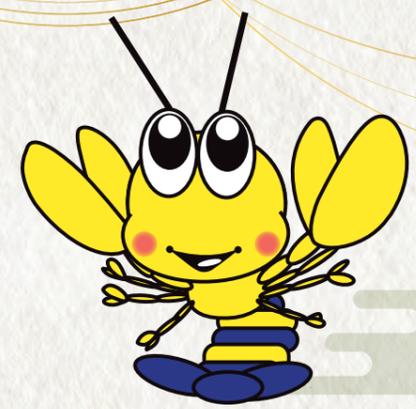
いわお れんと
岩尾 蓮斗さん
社会科の授業で、風流・節頭行事を4年生のころから学んでいます。多くの方が伝承に頑張っていて感動しました。私も伝統を伝えていきたいです。



はまさき りんせい
濱崎 琳晴さん
将来、市外で進学・就職しても、風流・節頭行事には参加したいです。今後、私たちが案内係となって参拝者へ説明するイベントも計画しています。

教えて！
マジッキー！

野原八幡宮風流って？
ユネスコ無形文化遺産って？



今更聞けない「アレコレ」教えます！

●野原八幡宮風流とは…

ちご 稚児の役となる2人の少年が、獅子頭に見立てた笠をつけ、成人男性による歌や笛に合わせて小太鼓と大太鼓を打ちながらゆったりとした動作で舞う民俗芸能です。悪魔祓いを起源として、菰屋・野原・川登の3地区にそれぞれ伝わり、野原八幡宮大祭(通称のばらさん)では節頭行事とともに毎年奉納されています。稚児の古風な所作や色鮮やかな衣装などには、風流の芸能の特色があらわれています。

昭和52年… 熊本県重要無形民俗文化財に指定
平成27年… 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として国が選択。
令和3年… 国の重要無形民俗文化財に指定。

ふりゅうおどり
そもそも「風流踊」ってなに？
風流踊は中世に始まったとされ、各地の歴史や風土に応じて変化しながら伝承された民俗芸能です。華やかな、人目を惹くという「風流」の精神を体現し、衣装や持ち物に趣向をこらして笛・太鼓などの囃子とともに踊ることで災厄を祓い、穏やかで平和な暮らしをもたらされることを願うものです。



菰屋地区



野原地区



川登地区

●ユネスコ無形文化遺産とは…

国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)が、その土地の歴史や生活風習などと密接に関わっている芸能や伝統工芸技術など、形のない文化を保護対象としたもの。これまでに対象とされた無形文化遺産は、インドのヨガやスペインのフラメンコなど各国の音楽・舞踏・祭り・儀式があり、日本では、雅楽や歌舞伎のほか、和紙・和食などがあります。

このように、大切に伝えられてきた伝統が
世界的にも名誉ある文化遺産として評価されました！